



やまびこ

「30周年記念誌発行 特別版」

NPO 法人有終支援いのちの山彦電話

2021年7月発行

第15号

発行者：大塚 慶子

編集：広報

暑中お見舞い申し上げます。

ようやくワクチン接種も始まりましたが、まだまだ予断を許さない状況の中、皆様には如何お過ごしでしょうか。

いつも「いのちの山彦電話」の活動にご理解とご支援いただき心よりお礼申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス大流行の中、相談活動を縮小せざるをえず大変心痛いことでした。その中で9月、3月の東京都地域自殺対策月間には力を合わせて参加できたことは、会員自身にも大変励みになりました。コロナ禍によって、孤独孤立をより深める方、追い詰められて心の不調に陥る方も増えています。この苦境を共に乗り越えるため、私共も心身を整え、傾聴することの研鑽に一層励む所存です。

今年度は、新規の相談員の養成研修も始めました。緊急事態宣言発出中で、予定変更を余儀なくされてはいますが、健闘中です。

山彦電話は小さな団体で収益事業はなく、会員の会費で運営していますが、それだけでは経費を賄っていません。支出の削減には極力務めてはいますが、常に財政困難を抱えています。

皆様の賛助会費、ご寄付は会員の活動意欲を支え、相談活動の重要な礎となっています。私共の活動は皆様のご厚志によって支えられてきました、

今後ともご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人 有終支援いのちの山彦電話

理事長 大塚 慶子

◇【活動報告】2020年4月～2021年3月

- ◆ 4月 : 活動曜日を変更 火・水・金・土(12時～20時)
- ◆ 4・5月 : 緊急事態宣言により電話相談を休止、6月より再開(火・水・金・土/12時～16時)
- ◆ 5月24日 : 令和2年度文書総会実施
- ◆ 9月1日-30日 : 「東京都地域自殺対策補助事業」の電話相談実施(火・水・金・土・日祝/12時～20時)
- ◆ 9月10日 : 半日研修(応需の品質改善のためのコンサルテーション事業)
- ◆ 10月18日 : 「東京都地域自殺対策補助事業」相談員育成のための一日研修(講師:竹田雅子氏)
- ◆ 2月 : リーフレット改訂、2,000部を配布
- ◆ 2月8日 : 上階からの漏水により一時事務所移転。活動は継続
- ◆ 2月14日 : 半日研修(対面研修、オンライン研修)
- ◆ 3月1日～31日 : 「東京都地域自殺対策補助事業」の電話相談実施(火・水・金・土・日祝/12時～20時)
- ◆ 3月26日 : 「こころといのちの相談・支援 東京ネットワーク連絡会」ズーム会議参加

◇ 5年間の【東京都地域自殺対策補助事業】を振り返って

今年はこの事業に参加して6年目に入ります。各地からの電話は、自殺対策月間が終了後も続き、私たちの活動が社会に役立っていることを実感しました。またこの事業により、「いのちの山彦電話」の知名度も上がり、会員のモチベーションも高まりました。

事業の参加当初、「9月・3月の自殺対策月間」は活動日を増やして毎日電話対応してきました。会員全員が一丸となって頑張ってきましたが、相談員不足による会員の負担は大きく、大きな悩みです。その為、昨年度より活動日を削減することになり残念に思っております。

年	件数	9月・3月応需日数/時間/広報	自殺対策月間中の相談傾向
2016年 (H28)	964	61日間全日、515時間、延264人 都広報紙・リーフレット5,000部 配布・新聞広告	インターネットの普及により、全国の若年層、男性からの相談が増加。年間総件数が前年度より1,144件増。
2017年 (H29)	1275	61日間全日、457時間、延263人 都広報紙・「東京都共催」のリー フレット3,000部配布・新聞広告	新規の相談と自殺念慮のある電話が2か月間に集中。 年間総件数の約4割を占める。
2018年 (H30)	966	61日間全日、452時間、延262人 都広報紙・「東京都共催」のリー フレット3,000部・新聞広告	高齢者の孤独、経済困窮を訴える電話が増加。自殺対策月間だけでなく通年の相談ができることへの理解が広く浸透した。
2019年 (H31) (R1)	860	56日間、428時間、延246人 都広報紙・3月コロナの為 電話相談日数削減	孤独感を訴える電話の割合が全体の61%を超えて増加。新型肺炎への不安から、精神的に不安定な状況に陥るコーラーが増加。
2020年 (R2)	796	45日間、295時間、延180人 都広報紙、電話相談日数削減 時間短縮12時～20時	コロナ禍の中、感染リスクを警戒し当番に出られない相談員が多く、実質7割の人数で対応。コロナ下での困窮や、孤独感を訴える相談が増加。初めて男性からの電話が女性の数を越えた

事業開始5年が経過、徐々に正味財産が減少しています。(注:当法人ホームページの貸借対照表参照)
現在の厳しい社会情勢の中で、私共の活動を続けるためには、皆様のご支援が必要です。
どうぞご理解いただけますようお願い申し上げます。



◇ 研修

昨年度は新型コロナウイルスの影響で、定例会の中での研修がほとんど出来ない状態でした。今年度は、電話相談のための研修を充実させたいと考えています。
又 新会員養成研修は、4月18日に説明会を開催、コロナ禍の中で予想を上回る応募がありました。しかし、相次ぐ緊急事態宣言延長で7月からの開講となりました。受講希望者の熱意に応えられるよう、又新会員が増えることを目指して一生懸命取り組んでいきたいと思っております。

◇【30周年記念冊子を作りました】

「いのちの山彦電話」は昨年（2020年）創立30周年を迎えました。コロナ禍で記念行事の実施は難しく、せめてこの10年間を振り返り、記録と記憶に残しておきたいとの思いで冊子を作成しました。

創設者の理念を現会員が理解することで「いのちの山彦電話」への一体感をもたらし、これからの活性化につながり、また、認識を新たに今後の私たちの活動への自覚を高めることが出来たらと思います。創設者の努力があって今があるということへの感謝の思いを共有し、「いのちの山彦電話」の未来につなげることを願っています。

作成にあたり、創設者の方々、現在の会員の原稿とともに、退会された元会員の方々からも温かい原稿を頂き感謝しています。

【記念冊子】

関心がおありでしたら、読んで頂けませんか？
ご連絡いただけましたら、お送りいたします。
連絡先；Tel/Fax;03-3842-5312 一部1,000円



10年

20年

30年

◇新入会員の声

【この1年、電話に出て】

「なるほど～」と言う人がいるけど、上から目線で言われている感じがする。癖かもしれないけど、電話を掛けている私には、気分が悪い」

私にとっても何気ない、日常使っている言葉です。でも、コーラーにはどう伝わるのでしょうか。

以前、私も「なるほど！」と生活の中で返事をされて、嫌だなと感じたことがありました。コーラーに言われてそのことを思い出しました。何気ない返事でも、気持ちのこもった返事が大事だと改めて思いました。敏感にならないといけないと大事なことに気づかされました。

この1年、コーラーから改めて気づかされることが多くありました。（藤田香織）

「志村けんさん、コロナで死亡」昨年3月上旬、このニュースを見た時、「えっ！」と驚いたのと同時に、コロナ感染を自分事として意識したのは、私だけではなかったと思います。新人相談員として活動を始めたばかりの時に起きた世界的感染。きっとコロナ関連の相談が増加するだろうと思っていました。

しかし、電話当番に入ってみると、こちらの健康を心配して下さったり、山彦の電話相談の継続を

讀えて下さったりと、皆様から温かいお言葉を沢山いただきました。

このコロナ禍により、多くの皆様が「いのちの山彦電話」を、心から大切に思ってくださいていることを期せずして知ることが出来、大変嬉しく思いました。今後も山彦の一員として、相談者の皆様の心にしっかりと寄り添うことのできる相談員に成長したいと思います。(工藤清江)

2019年に開催された山彦新人研修を経て、昨年3月の自殺対策月間から応需を始めました。電話相談を通して感じたことは、コーラーは強い孤独感を感じているということでした。家族がいても、たまにおしゃべりをする友達がいても、暮らしが豊かであっても、一人で暮らしていても、孤独を感じることに違いはないのだと感じました。そして、悩みを打ち明け話を聴いて欲しい…という気持ちだけではなく、相談員を気遣ってくれたり、誰かの役に立ちたい、仕事をして社会貢献がしたい、といった前向きな考えも併せ持っているようにも思います。コーラーのプライドを尊重することを意識しながら傾聴しようと心がけておりますが、中々そうは難しく、お叱りを受けることもあります。そんな時は自問自答し、そして、コーラーの人生観、お話しをお聴かせ頂けたことに感謝をしたいと感じております。電話相談を通して今後も学び続け、人として成長して行きたいと思っております。(鎌田則子)



★ 会員として、賛助会員として山彦電話を支えて下さった方、ご寄付くださった方、皆様に“感謝を込めて”ありがとうございます！

(～2021.6月末現在) (敬称略) (記載漏れがありましたらお詫びいたします)

塩村(良)・塩村(ヤ)・安部(里)・阿部(厚)・阿部(和)・安部(弘)・天野・池本・石井・石渡・稲垣・稲川(理)・井ノ上・入澤・岩田・岩本・江川野・太田(敦)・太田(寿)・小津・大西・大場・大町・大本・岡崎・小川・荻原(彰)・小田(信)・小田(侑)・小野・親松・兼重・川口(三)・上條(俊)・菊野・木村(わ)・久保・栗坂・桑原・小池(千)・小池(紀)・小石(武)・小西・小林(清)・小林(キ)・小宮・齋藤(敏)・斉藤(博)・桜井・島田(ま)・杉本・鈴木(幸)・鈴木(成)・鈴木(千)・鈴木(正)・白井・高岡・高島・高野(優)・高野(美)・高橋(洋)・高橋(香)・高原・高松・武田・田代・巽・田中(京)・田中(載)・玉井・東京コミュニティカレッジ・時光・常盤・徳永・中島・永瀬・中村・成瀬・西川(千)・西田・祢津・橋本(昌)・服部・早川・原・広瀬・福沢・藤井・藤巻(武)・藤村・(Mr&Mrs) Murhpy・松崎・丸林・三国・三平・宮坂・宮野・宮部(克)・山内・山上・山口・山本(多)・山本(正)・吉井・吉田(佐)・吉田(堯)・和田

☆ 今後とも「いのちの山彦電話」の活動に、ご支援の継続をお願い申し上げます。

賛助会員：年会費 3,000 円・ご寄付：任意

郵便局：口座番号：00130-2-538093 口座名：いのちの山彦電話

三菱UFJ銀行 千駄木支店：普通預金 口座番号 0438849

口座名： トクヒ) ユウシュウシエンイノチノヤマビコデンワ

・いのちの山彦電話：03-3842-5311 ・事務用電話・FAX：03-3842-5312
・メール：inochino.yamabiko@gmail.com
・ホームページ：<https://inochi-no-yamabiko.jimdofree.com>